

## 事業計画書

事業名	美術でつなぐ
実施場所	DHARMA 沼津
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

- ・DHARMA 沼津をはじめとした様々な場所での展示やイベント。
  - ・アートを通して子供たちの創造性を育む取り組み。
  - ・アーティスト同士による意見交換の場の提供。(HUBとしての機能)
  - ・若手アーティストの育成・支援。
- など

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

美術でつながり、集い、語らい、切磋琢磨し、人を育て、自らも成長する、それが私たち EN の役割です。私たちの表現が、何を生み出し、何をもたらすのかをみんなで考え、共に行動することで、地域の美術のハブとなり、様々な美術と出会える発信地となることを目指します。

## ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
11月1日~29日	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p><u>平面作家3人展(仮称)</u></p> <p>実施内容:長橋秀樹、菅沼稔(神奈川県在住)、松浦年延(神奈川県在住)による絵画作品中心の展覧会</p> <p>打ち合わせ:昨年4月19日・11月22日済、今後数回予定</p> <p>資料作成:パンフレット又はリーフレット、チラシ及びDMの作成予定</p> <p>準備:搬入期間は約1週間確保し、十分な会場のリサーチの後作品設置</p> <p>検討会:展覧会后、反省会を設け、3人展について具体的な方向性を検討</p> <p>実施場所:DHARMA 沼津</p>
5月ごろ 予定	<p>第1回 EN コレクション展</p> <p>実施内容:ENメンバーによる所蔵作品の展覧会</p> <p>打ち合わせ:定例会の中で検討</p> <p>資料作成:チラシ及びDM等を作成予定。</p> <p>準備:壁面などの展示会場作り(ENメンバーで施工:壁面作成・補修等)</p> <p>実施場所:DHARMA 沼津</p>

10月ごろ 予定

第2回松島誠ダンスパフォーマンス公演

実施内容：松島誠（沼津在住ダンサー・ENメンバー）によるダンスパフォーマンス

打ち合わせ：定例会の中で検討

資料作成：写真およびビデオ撮影による記録

準備：事前会場作り（ENメンバーで施工）

実施場所：DHARMA 沼津

6月 予定

おやこんぼフェスタでのワークショップ

実施内容：ENが関わる沼津市私立幼稚園協会による「おやこんぼフェスタ」でワークショップを開催。

打ち合わせ：幼稚園協会と事前に2回程度行い、定例会で共有

資料作成：写真撮影による記録

準備：前日の会場作り ENメンバーで施工）

実施場所：沼津プラザヴェルデ（予定）

1月 予定

沼津市幼児教育研究協議会研修会

実施内容：昨年度開催した第1回沼津市幼児教育研究協議会研修会「沼津で芸術士が活躍する施設を！」を踏まえ、沼津市内の幼児教育施設での実践報告やさらに踏み込んだ県東部在住アーティストとの意見交換実施

打ち合わせ：年間3回～5回程度予定

資料作成：研修にあたって配布するレジュメ・事後報告書作成

準備：打ち合わせの中で必要書類作成

検討会：事後、反省会を設け今後の課題を提案し、次回のテーマを決定する

実施場所：沼津プラザヴェルデ（予定）

人員配置・役割分担：ENメンバー・幼児教育研究会員によって構成

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

平面作家3人展（仮称）

- ・ 県外の実績ある作家の招聘により、県外の美術関係者の来場が見込める。

第1回 EN コレクション展

- ・ 県東部（主に）の愛好家を含めた美術に興味を持つ人との交流が見込める。

第2回松島誠ダンスパフォーマンス公演

- ・ 国内外で活発な活動中の松島誠の場を活かしたパフォーマンス公演が DHARMA 沼津で開催されることで、DHARMA 沼津の魅力の再確認と沼津がルミでのパフォーマンスアーツの展開の可能性を来場者に実感してもらう。

沼津市幼児教育研究協議会研修会

- ・ 芸術士の派遣事業に向けて、具体的な課題を明らかにしたうえで沼津市内の幼児教育の質の向上とこのプロジェクトに関わるアーティストの雇用促進へつながる。

おやこんぼフェスタでのワークショップ

- ・ 一昨年から EN が関わる沼津市私立幼稚園協会による「おやこんぼフェスタ」でワークショップを開催。

事前に会場の空間づくりの打ち合わせを幼稚園協会と重ね、当日は子どもたちの造形活動にアーティストがサポートする立場で関わり、子どもたちの創造の可能性を引き出す。

<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p><u>平面作家3人展</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場予定数：300名</li> </ul> <p><u>第1回 EN コレクション展</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来客予定数：100名</li> </ul> <p><u>第2回松島誠ダンスパフォーマンス公演</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場予定数：50名</li> </ul> <p><u>沼津市幼児教育研究協議会研修会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場予定数：50名</li> </ul> <p><u>おやこんぼフェスタでのワークショップ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場予定数：500名</li> </ul>	<p>指標の検証方法</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>受付で来場者に芳名帳へ署名してもらうことでカウント。</p>
-------------	---	----------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。沼津には沼津西高をはじめ、誠恵高校、中央高校など美術を専攻する高校があるが、卒業後は東京や名古屋、大阪などの大学に進学してしまい、その後沼津に戻って来ないことが多いが、沼津にもユニークで魅力的な人たちがいて、沼津に戻っても活動出来る場所があることを認識してもらうことでの人材確保。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 前身の E-space から引き続きアーケード商店街を拠点として、近隣の店舗や幼稚園・保育園、学校などと連携して企画展示やワークショップを開催している。 また沼津市だけに留まらず静岡市や富士宮市のギャラリーとも連携をし、幅広く人を呼べるような取り組みを行っている。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 ギャラリーでの単なる美術作品の展示に終わるのではなく、ワークショップやトークセッション、アートツアーなどを企画・実行して、人と人、人と場所をつなぎ、新たな可能性を生むことで、地域の創造性を牽引していく。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについてどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。 年間計画に沿って、次々と企画展示やワークショップ等を開催し、多くの人が訪れるような事業を継続的に行っていく。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 毎月定例会を行い、企画の内容を検討・確認し PDCA を回しながら、様々な施策を進めている。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 30年間放置されていた耕文社旧本社工場を約2カ月掛けて、メンバー自身が掃除、ゴミ処理、片づけ、ペンキ塗り、照明の補修、壁面づくりなど、自分たちで出来ることは行い展示会場として利用出来るようにした。また展示の度に使いやすい施設への整備を都度行っている。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>●DHARMA 沼津を美術の拠点として活動していくために、静岡県内をはじめとしたギャラリーと密なる連携をしつつ、県外のギャラリーとも提携し、アーティストが滞在し作品制作することも視野に入れてより活発な活動していく。</p> <p>●幼児教育のための施策として、沼津市私立幼稚園協会と協力しながら、市内幼稚園・保育園との連携のもと「芸術士の派遣事業」について具体的な活動に展開させる。</p>
---

## ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

### ● DHARMA 沼津の活用

#### 電通グループ ECO AWARD PLUS 2019 準グランプリ受賞

電通グループ社員の SDGs への取り組みを賞する「電通グループ ECO AWARD PLUS 2019」において、30 年間使われていなかった印刷工場を、DHARMA 沼津として復活させた件で準グランプリを受賞した。

#### ボタニカ・RYU ギャラリー・EN 静岡県内 3 ギャラリー合同企画展

自己評価：富士宮市、静岡市のギャラリーとの巡回展「そこに在る富士山」の締め展示として DHARMA 沼津で開催。展示の規模、内容入場者数ともに締めにふさわしい展示となり、メンバーを新たに増やすことにつながることが出来た。

また沼津西高校や沼津市立高校の生徒などの美術系の若者も多数来場し刺激にすることができた。

実績：来場者は 250 人、朝日新聞、静岡新聞、沼津朝日新聞で記事掲載、トコチャンワイドでも放送された。

#### 青木一番個展 1986 年からの仕事

自己評価：1 階～3 階まで使った大規模な個展をメンバー全員の協力のもと開催。展示期間中、DHARMA 沼津でデッサン教室を行うなど、様々な形で DHARMA 沼津の有効活用を行った。

実績：来場者数は 250 人、静岡新聞、沼津朝日で記事掲載。

### ● 幼児教育のための施策

#### 沼津市幼児教育研究協議会研修会

自己評価：幼児教育研究会の方々との信頼関係が十分生成できた。

実績：アートを援用した幼児教育の必要性が現場の幼児教育施設関係者にも十分伝えることができた。

#### 駄菓子屋「だいこくや」における“みんなで花を咲かせましょ！”プロジェクト

自己評価：だいこくや店長（海野氏）との信頼関係の形成が十分できた。

実績：だいこくやの売り上げ前年同月比で 120%などの結果を残すことができた。

#### おやこんぼフェスタでのワークショップ

子どもたちと一緒に深海の未発見生物を制作し展示を行った。テントを使って暗い空間をつくりプロジェクターで深海を再現。多くの子どもたちに参加してもらい深海に様々な未発見生物が登場した。